

東京財団提言「医療保険の制度改革に向けて」に関するコメント

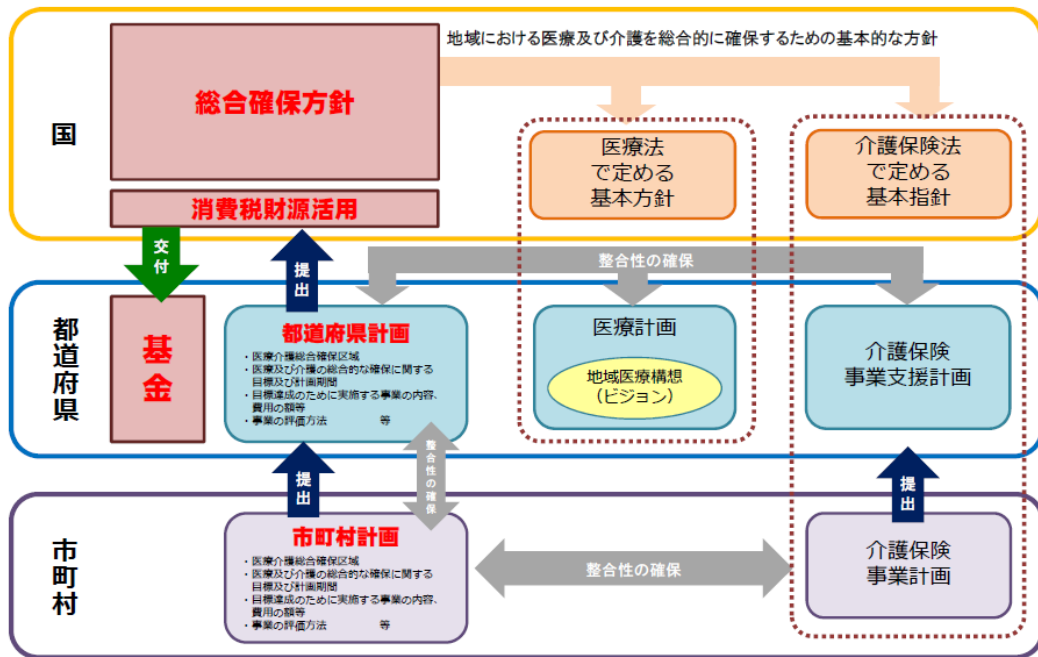
2015年6月29日 加藤久和（明治大学）

提言（１）：保険制度の地域一元化

- 地域一元化への道程：地域医療構想（二次医療圏）／地域包括ケアシステムとの整合性は保たれるか？
- 保険者と地域医療介護会議との関係は（保険者機能の強化は提供体制との連携が欠かせない）
- 二重のリスク構造を地域保険が引き受けられるか？
 - 現役世代：所得リスク低く健康リスクも低い
 - 高齢世代：所得リスクも健康リスクも高い
- そもそもリスク分散（社会保険）と再分配（財政調整）の混在している状況をいかに統合するのか？

医療・介護供給体制の今後

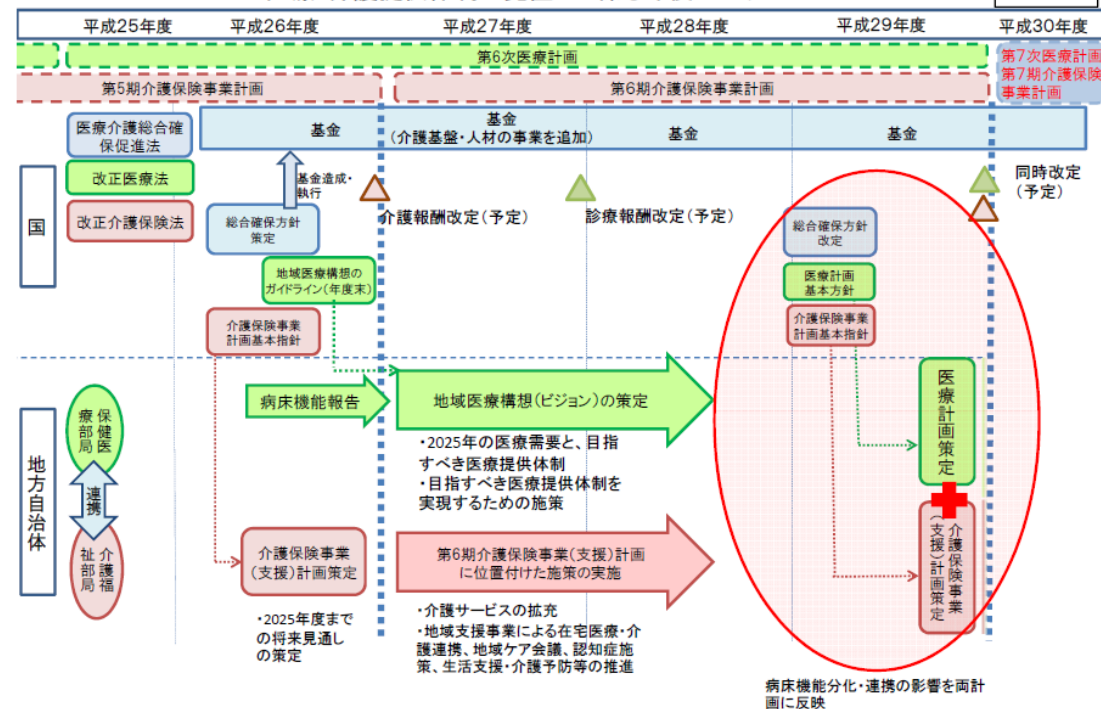
医療及び介護に関する各種方針・計画等の関係について 参考資料 1



出所：厚生労働省「第3回医療介護総合確保促進会議」資料

医療・介護提供体制の見直しに係る今後のスケジュール

資料3-2

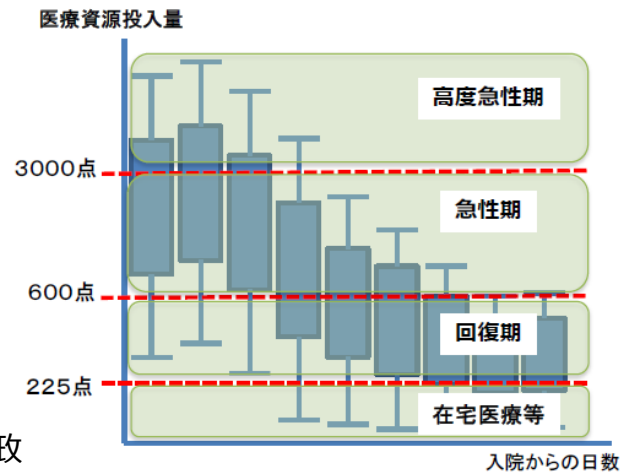


出所：厚生労働省「第1回医療介護総合確保促進会議」資料

地域医療構想の概要

高度急性期、急性期、回復期の病床数の推計
(ガイドラインに基づき都道府県毎に推計)

- 実際の診療データに基づき、全患者の1日当たり医療資源投入量を入院経過日数順に並べ、基準に該当する患者数(人・日)を合算。これにより得られる医療需要を病床数に換算。

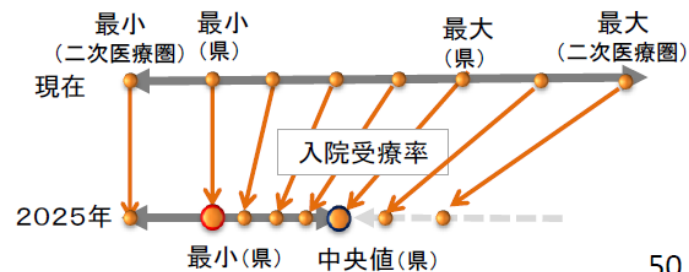


慢性期の病床数の推計
(ガイドラインに基づき都道府県毎に推計)

- 療養病床の入院受療率に現在、地域差があることから、例えば、全国最大レベルの入院受療率を全国中央値レベルにまで低下させる割合を用いて、地域差を解消。

【地域差解消手法の基本例】

全国最大レベル(県単位)の入院受療率を全国中央値レベル(県単位)にまで低下させる割合を用いて、二次医療圏ごとに全国最小との差を等比的に低下する。



50

出所：「社会保障」資料、財政
制度等審議会2015年4月27日

提言（２）：財政制度の簡素化

- 二重の所得再分配の存在

- ①現役世代から高齢世代へ、②制度間の再分配 健保から国保へ

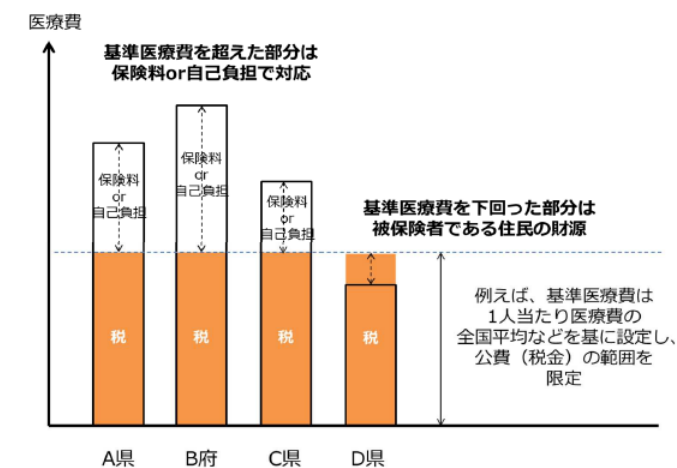
- 保険であれば基本は「応益負担・リスク構造調整」。応能負担については給付付き税額控除など他の仕組みで対応すべき。保険原理と再分配の役割分担が必要。

- 事業主負担の帰着の問題を明らかにする必要。

- 地域差は果たして財政調整すべき格差か？

→地域内基準医療費の考え方は保険ではない。

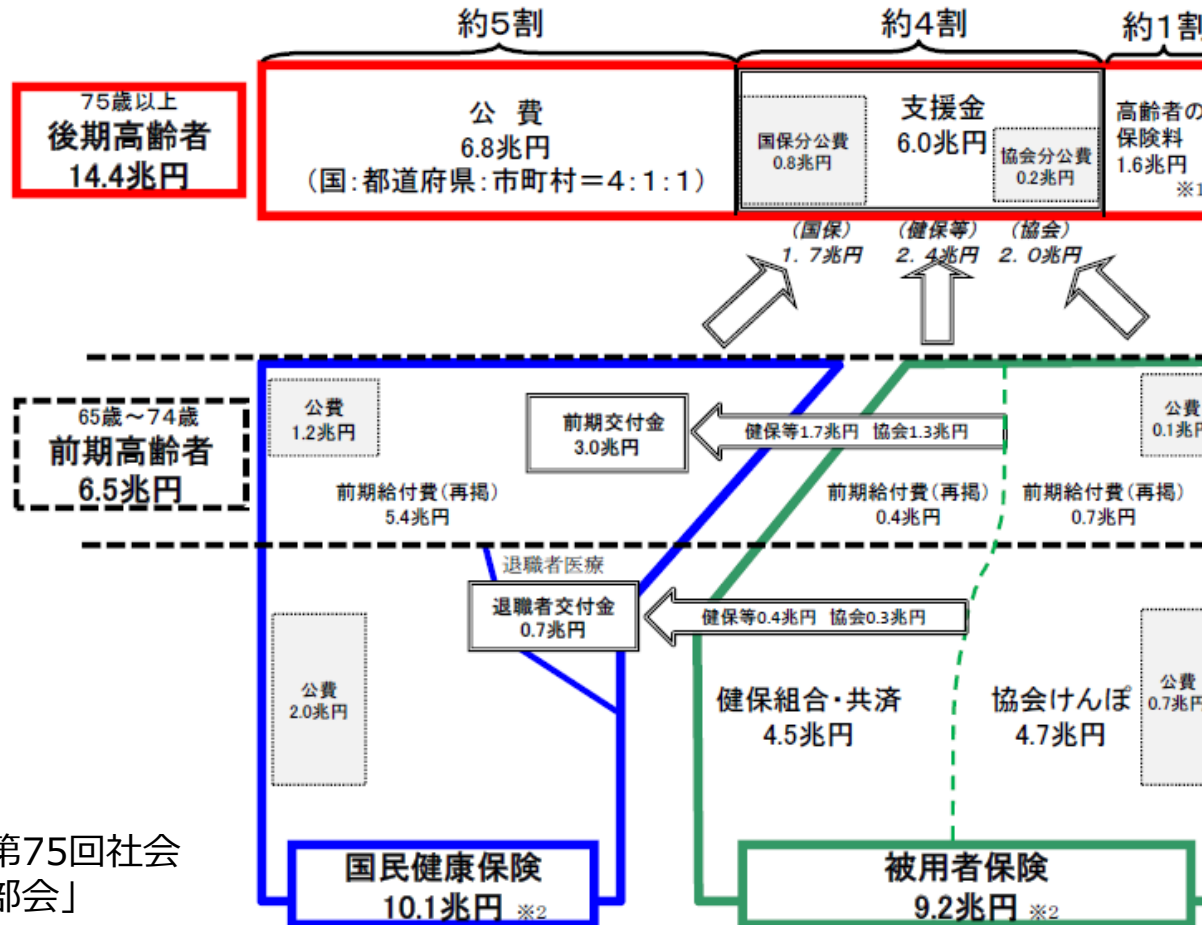
図 14：新しい財政制度のイメージ



出典：東京財団作成

医療保険制度の財源構成

(平成26年度予算ベース)



出所：厚生労働省「第75回社会保障審議会医療保険部会」

※1 後期高齢者の保険料は、低所得者等に係る軽減分を考慮していない(保険料軽減措置や高額医療費の支援等の公費0.5兆円を含む)。
 ※2 国民健康保険(10.1兆円)及び被用者保険(9.2兆円)は、各制度の給付費を示しており、他制度への納付金や支援金を含まない。

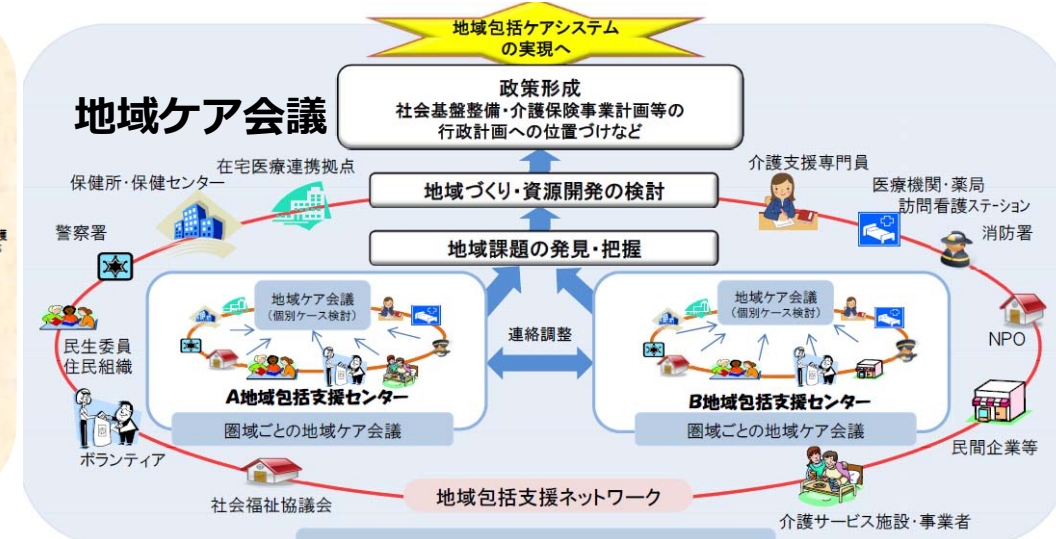
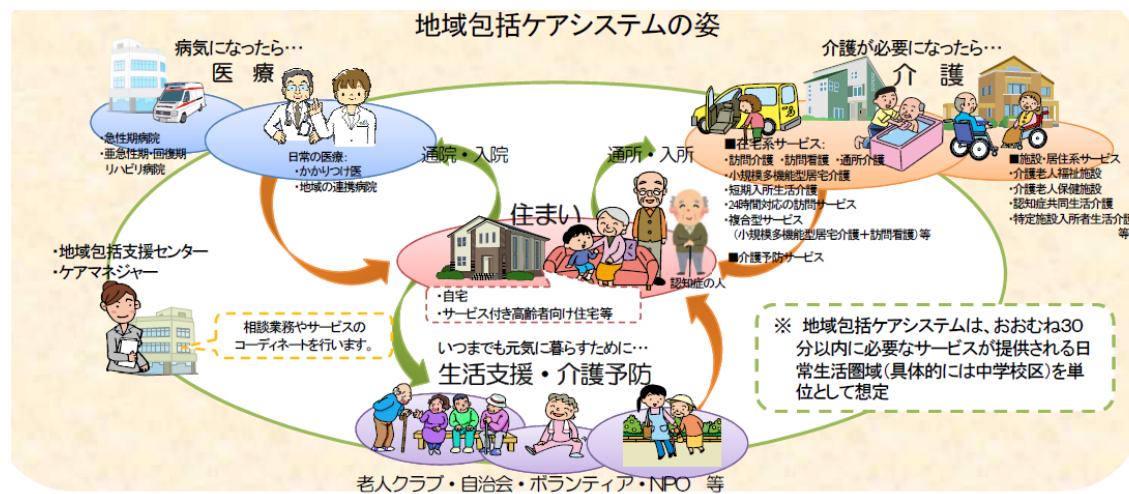
提言（3）：住民自治の強化

- 保険原理に連帯意識は必要か？民間保険に連帯意識はない。連帯の重視と社会保険との関係をどう考えるか。
- 社会連帯税を応能原則で導入するなら、保険料はすべてリスク調整された応益という社会保険本来の姿に戻すということもあるのではないか？
- （医療に関する）住民自治に反対するわけではないが、自治の枠組み、市町村の規模や人口構造などが異なることにどう対応するのか。
- 今後縮小するであろう自治体規模を前提とした場合、保険者の適正規模はどう考えればいいのか。

提言（４）：保険者に対する権限移譲

- 地域包括ケアあるいはケアグループ
 - 医療と介護の一体化&地域包括ケア
 - 誰がコーディネートするのか？
総合診療医、ナースプラクティショナー、ケアマネージャー？
- 実施主体としての地域単位と、保険者としてのリスク構造調整可能な規模との整合性をどうとるか、が課題となる。

地域包括ケアシステムと地域ケア会議



出所：厚生労働省HP

(参考)

財務省財務総合政策研究所「持続可能な介護に関する研究会」

(財政面の課題)

- 他の社会保障支出の拡大の速度以上に増加する介護需要にすべて応じるには財政的に厳しい。
- 医療との連携、地域との連携（地域包括ケア）は介護保険財政の持続可能性にどれだけ貢献できるのか。

(需要と供給のミスマッチ)

- 高齢化とともに介護に需要はさらに増加する一方、供給には制約がある。
- 供給者（介護産業就業者）の賃金は、市場メカニズムが働かない。（介護報酬の引き上げには限界がある。）
- 地域的なミスマッチが拡大・顕在化する懸念がある。

